

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
	○			

事務事業No 369 事業名 難病患者等各種団体補助事業

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・予算区分	会計		一般会計
	款		衛生費
	項		保健衛生費
	目		保健所費
	大事業		保健所事業
事項		難病患者等各種団体補助事業	

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	1	地域福祉と健康づくりの推進
施策	5	保健医療対策の推進
取組	2	難病対策の普及・啓発

事業種別	継続	主な事務事業
事業期間	永年	～
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	保健対策課	坂東貞次 (433-226)
関連課		

「3つの磨き」との関連性

「市民力を磨く」		「基盤力を磨く」		「観光力を磨く」		該当せず	○
コミュニティーの充実		メリハリある都市づくりの充実		史跡和歌山城の充実			
市民の健康環境の充実		道路・公共交通網の充実		海を生かした観光シフトの充実			
総合的な子育て環境の充実		総合防災体制の充実		美味しい和歌山市イメージの充実			
その他		その他		その他			

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする）ための事業か）	事業内容				
	難病の治療に関する情報交換や会員相互の親睦・福祉の増進を図るとともに市民に広く理解を求める。	和歌山市難病患者・家族交流会等に、4月補助金交付の申請を受け、交付決定を行い、予算の範囲で補助金を交付する。3月事業完了の実績報告を受け、補助金の確定を行なう。ア、全国心臓病の子どもを守る会（心臓病児者とその家族の交流を図り、医療制度の改善と社会保障の拡充を求める活動を実施している。）イ、和歌山市難病患者・家族交流会（難病患者及び難病患者の家族の交流促進を図る活動を実施している。）				
実施内容		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		毎月交流会を開催し情報交換を行い親睦を図った。 補助額69,000円 回数2回25,000円 44,000円	毎月交流会を開催し情報交換を行い親睦を図った。 補助額60,000円 回数2回16,000円 44,000円	毎月交流会を開催し情報交換を行い親睦を図った。 補助額65,000円 回数2回23,000円 42,000円		

2 事業コスト

事業費 千円			平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算
	事業費		69	69	69	60	65	65	65	65	65	65
	伸び率 (%)		-	-	0.0%		-5.8%		0.0%		0.0%	
	人件費	常勤職員	413	2,320	2,320	2,281	2,281	2,296	2,296			2,296
		非常勤職員										
	小計		413	2,320	2,320	2,281	2,281	2,365	2,365			2,365
	国庫支出金											
	県支出金											
	市債											
その他												
一般財源(税等)		69	69	69	60	65	65	65	65	65	65	
所要人数	常勤職員	0.05	0.3	0.3	1	1	0.3	0.3			0.3	
	非常勤職員											

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	各対象団体へ補助金交付回数。				年度目標値	2	2	2	
					実績値	2	2	2	
	単位	回	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度	100.0%	100.0%	100.0%	
					年度目標値				
					実績値				
成果指標	参加者数(イベント)				年度目標値	300	300	300	300
					実績値	237	237	407	
	単位	人	全体目標値	300	全体目標達成度	79.0%	79.0%	135.7%	
					年度目標値				
					実績値				
	単位		全体目標値		全体目標達成度				

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○ 緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 事業の方向性

方向性	A 計画どおり事業を進めることが妥当	B 1 事業の充実に向けた見直し	担当課評価 (所属長記載)
	B 見直しのうえで継続	B 2 コスト削減・成果上昇	
	C 終了	B 3 類似事業との統合	A
	D 休止	B 4 外部委託導入・拡大	
	E 廃止	B 5 受益者負担の適正化	
		B 6 終期設定	
		B 7 その他効率化	

担当課評価の根拠	毎年団体等からの要望があり、検討の結果現状を継続。
「見直し」 「改善」案 ※上記、担当課評価が 「B」評価の場合のみ	